



2016年3月1日

アウディ ジャパン株式会社
プレス問い合わせ 03-5475-6309
<http://www.audi-press.info/>

お客様問い合わせ 0120-598-106
アウディコミュニケーションセンター

コンパクト、スポーティ、先進テクノロジーを満載：新型 Audi Q2

アウディは新しいマーケットセグメントへ参入します。ジュネーブ国際モーターショーに出品する Audi Q2 により、よりコンパクトなサイズの Q ファミリーを市場に投入し、そのラインナップを拡充します。全長 4.19 メートルのこのクルマは、若々しいデザイン、高いレベルの実用性、そしてドライブの楽しさを巧みに融合しています。コネクティビリティ、インフォテインメント、アシスタンスシステムに関しては、フルサイズクラスのモデルから多くの先進メカニズムが受け継がれています。

Audi Q2 のスタイルをひと目見ただけで、力強くエネルギッシュな印象が伝わります。フロントエンドでは、2 つの大きな、力強い曲線で区切られたエアインレットと、高い位置に装着されたシングルフレームグリルによって、SUV らしい表情が生み出されています。サイドビューでは、エッジと多角形を用いた、アウディではかつてなかったデザイン手法により、新鮮なスタイルが大胆に表現されています。ボディサイドにおけるもう一つの特徴は、低く設定された C ピラーのカラーオフセットブレードで、この部分はお客様のご希望に応じてカスタマイズすることが可能です。高いショルダーラインの上には相対的に幅の狭いウインドー面が設定され、アウディの流儀に従って、ボディパネルとウインドーの比率はおおよそ 2 対 1 になっています。ボディ側面のパネルは、ドアの部分が若干内側に窪んでいます。それによってホイールの存在感が強調され、またそのホイールによって、このコンパクト SUV が quattro の系譜に属する 1 台であることが示されています。リヤでは、長いルーフスポイラーと、力強いバンパーの曲線、さらにアンダーボディプロテクション風のディフューザーにより、ダイナミックなスタイルが演出されています。ディフューザーの形状は、モデルによって若干異なっています。左側には排気システムのパイプが、1 本または 2 本配置されています。ウェッジシェイプのヘッドライト同様、テールライトにもオプションで LED テクノロジーが用意されています。また、リヤランプにダイナミックターンシグナルを選択することも可能です。

最新鋭のドライバーアシスタンスシステム

新型 Audi Q2 は、ドライバーアシスタンスシステムの多くを、フルサイズのモデルからそのまま採用しています。標準装備されるアウディプレセンスフロントは、レーダーを使って車両前方を横切る歩行者や他の車両をモニタリングして、危険な状況を認識します。危険を検知すると、システムはドライバーに警告を発し、必要に応じて（低速であればクルマが完全に停止するまで）緊急ブレーキも作動させます。

また、オプション設定された各システムも、様々な状況での予防安全性能を高めています。アウディはそのうち、スタート・ストップシステムおよびトラフィックジャムアシスト付アダプティブクルーズコントロールを含む人気の高いシステムを、アシスタンスパッケージに統合しました。

アダプティブクルーズコントロールは、レーダーを活用することで、先行するクルマとの車間距離を、ドライバーが設定したとおりに維持します。トラフィックジャムアシストは、さらに超音波センサーとフロントカメラを活用します。一般的な舗装路であれば、65km/h以下の比較的低速で走行中に、アクセル操作だけでなくステアリング操作まで代行してくれます。オーディオアシストは、レーダーによって安全に車線変更をサポートし、ビデオカメラを活用したオーディオアクティブレーンアシストは、車線の維持をサポートします。また、カメラを利用した交通標識認識システムは、制限速度や進入禁止に加え、補助標識も認識して、ドライバーにグラフィックで表示します。最新世代のパークアシストは、縦列駐車および垂直方向の駐車時に、ステアリング操作を代行してくれます。駐車スペースからバックして退出する場合には、リヤクロストラフィックアシストが役立ちます。レーダーセンサーを使ったこのシステムにより、後退時に後方の交通状況を監視します。

鮮やかなディスプレイ：オーディオバーチャルコックピットとヘッドアップディスプレイ

Audi Q2 のもうひとつのハイライトは、オーディオバーチャルコックピットです。精細で鮮明な画像を提供する 12.3 インチスクリーンを採用したこのシステムには、2 つの基本表示モードが設定されています。ひとつは丸型のタコメーターとスピードメーターが中心となり、もう一方では、インフォテイメントやナビゲーションデータを強調した表示が行なわれます。Audi Q2 ではさらに、オーディオバーチャルコックピットと最新仕様のインフォテイメントシステムのほか、フルサイズクラスのモデルからヘッドアップディスプレイのテクノロジーを採用しています。ヘッドアップディスプレイは、重要なドライビング情報を、ドライバー正面の視野のなかにあるフロントガラス面に照射します。その情報には、ナビゲーションデータや走行速度、警告メッセージなどが含まれます。

MMI ナビゲーションプラス：操作が楽しいユーザーインターフェイス

他のオーディオモデル同様、Q2 の操作は簡単で人間工学的にも理に適ったものになっています。標準仕様の MMI のスクリーンは、インストルメントパネルの上の高い位置に設定されています。スクリーンのサイズは、搭載するインフォテイメントシステムによって異なります。MMI の操作は、センターコンソールにあるロータリー/プッシュ式コントロールと 2 つのボタンにより行います。

インフォテイメントシステムは、MMI タッチ付きの MMI ナビゲーションプラスです。このシステムは、ロータリー/プッシュ式コントロールの他、タッチパッドを装備し、指を使ってズームやスクロールを行うこともできます。その操作は楽しくさえあります。日常的な言葉も聞き取るボイスコントロールや MMI サーチといった機能の操作も、直感的に操作することができます。わずか数文字を入力しただけで、希望する機能へアクセスすることが可能です。さらに、MMI タッチ付き MMI ナビゲーションプラスには、Wi-Fi ホットスポットの機能も統合されています。これにより、Audi Q2 の乗員は、手持ちのモバイル機器を使って、ウェブサイトを閲覧したりできます。また MMI タッチを介して、Audi connect のオンラインサービスにアクセスすることも可能です。ドライバーはそこで、交通情報やパーキング情報を得たり、Google Earth を使ったナビゲーションを利用したりすることができます。

ヨーロッパのお客様の場合、Audi connect の機能に加え、(内蔵型) SIM カードが車両に搭載されるため、このシステムのために必要な定額料金プランも用意されています。ローミングサービスはヨーロッパの大半の国で提供されます。希望すれば、訪れる先々の国で、自動的に地域のプロバイ

ダーにアクセスするように設定することもできます。また、Wi-Fi ホットスポットを利用するためのデータパッケージは、Audi connect サービスとは個別に注文することが可能です。

無限のバリエーション：Audi MMI コネクトアプリおよびインフォテイメントシステム

Audi MMI のフリー接続アプリにより、他の車載サービスも提供されます。その代表的なものが、オンラインによるメディアストリーミングで、また、スマートフォンのカレンダーをそのまま MMI に移動させるといったことも可能です。iOS オペレーションシステムに対応した myAudi destinations を利用することで、希望するナビゲーションの目的地を、任意のアプリから Audi Q2 に送ることが可能です。お客様は、Share 機能を使用して、関連するデータを MMI の接続アプリに送るだけで操作は完了します。そこから先は、MMI ナビゲーションプラスが目的地までナビゲートします。

第2世代のモジュラーインフォテイメントプラットフォームに搭載された Audi スマートフォンインターフェイスにより、Apple Car Play および Android Auto 環境の下、iOS と Android のスマートフォンを車載のインフォテイメントシステムと接続することができます。

オプションのバング&オルフセン サウンドシステムを搭載すると、705W のアンプと 14 本のラウドスピーカーによる、特別な音響体験が提供されます。ウーファースピーカーにはアルマイト処理されたアルミニウムトリムが装着され、夜になると LED 照明によるホワイトの光が発せられます。

インテリア：高いレベルの機能性

開口部の広いドアと SUV ならではの高いドアシルにより、5人乗りのスペースを提供する室内には、容易に乗り込むことができます。ドライバーのシートポジションは、他の Audi セダンのように、ステアリングホイールに対して低めのスポーティな位置に設定されていますが、SUV ならではの視界の良さはそのまま維持されています。ラゲージコンパートメントは 405 リットルの容量を確保しており、後席のシートバックを折り畳めば、最大 1,050 リットルまで拡大することができます。オプションで、パワーテールゲートと 3 分割式の後席シートバックが設定されています。トランクスルー機能を備えたシートバックの中央部分は、スキーなど、長い荷物を運ぶときに便利です。

体系的な軽量設計：車重は 1,205kg

厳格な軽量設計コンセプトにより、Audi Q2 のボディは非常に軽量に仕上がっています。全長は 4.19 メートル、ホイールベースは 2.60 メートルで、オーバーハングは前後とも短く設定されています。全幅は 1.79 メートルで全高は 1.51 メートルです。1.0 TFSI エンジンを搭載した仕様で、重量は 1,205kg に過ぎません。熱成型スチールを多用したパッセンジャーセルが、ボディの強固な骨組みを形成しています。振動特性を最適化したボディ、エアロアコースティックス/エアロダイナミクス分野におけるアウディの卓越したノウハウにより、室内騒音レベルは低く抑えられています。Cd 値は、ベースモデルで、SUV としては良好な 0.30 を達成しました。

3 つの TFSI と 3 つの TDI エンジン

アウディは Q2 シリーズのために、合計 6 タイプのエンジンを提供します。それぞれ 3 タイプの TFSI、TDI エンジンで、パワーレンジは 85~140kW (116~190PS) をカバーしています。エンジンの

選択は、ライトサイジングのコンセプトに基づいています。車両クラス、排気量、パワー、トルクおよび日常ユースでの燃費効率の点で、最高のバランスで満たすエンジンを追求しました。排気量は1.0~2.0ℓです。

そのうちガソリンエンジンは、85kW(116PS)を発生する直列3気筒の1.0 TFSI、110kW(150PS)を発生し気筒休止システム(COD:シリンダーオンデマンド)を備えた直列4気筒の1.4 TFSI、140kW(190PS)を発生するパワフルな直列4気筒の2.0 TFSIの3タイプです。そのうち2.0 TFSIは、新しい燃焼方式を採用しており、低中負荷の運転領域では、ダウンサイジングエンジンと同等の省エネ効果が得られる一方、高負荷領域では過給器付き2.0ℓエンジンならではの高出力/トルクを発生します。結果として、あらゆるエンジン回転域で、卓越した燃費効率とパワーが得られることになりました。

一方、エントリーモデルのディーゼルエンジンには、85kW(116PS)を発揮する直列4気筒の1.6 TDIが搭載されます。その上位には、110kW(150PS)と140kW(190PS)の2つの出力が設定された、ベストセラーエンジンの2.0 TDIが用意されています。

新しいデュアルクラッチトランスミッション：パワーの伝達

ギヤボックスは、6速マニュアルもしくは7速のSトロニック デュアルクラッチトランスミッションが設定されています。Sトロニックはすべてのエンジンと組み合わせることが可能ですが、2.0 TDIと2.0 TFSI搭載モデルは、この新開発されたデュアルクラッチトランスミッションが標準装備となります。Sトロニックは、ギヤレシオが非常にワイドな設定になっており、新しいタイプのオイル供給と内部フリクションの最適化により、高レベルの伝達効率を実現しています。

最先端のテクノロジー：シャーシー

すべてのモデルに、プログレッシブステアリングが標準装備されます。このステアリングラックは、操舵角に応じてレシオが変化するように設計されています。ステアリングを大きくきるほど、よりダイレクトなレシオに変化するため、ダイナミックなドライビングを実現します。

2.0 TFSI および 140kW (190PS) の 2.0 TDI エンジンを搭載した Audi Q2 には、quattro フルタイム 4WD システムが標準装備されます。また、quattro システムは、1.4 TFSI COD および 110kW (150PS) の 2.0 TDI を搭載した Audi Q2 でも、選択することができます。電子油圧制御の多板クラッチにより、一般的な運転状況では、動力のほぼすべてが前輪に伝達されますが、必要に応じて、瞬時にリアアクスルにも駆動力が分配されるようになります。それにより、運転する楽しさと走行安全性を高いレベルで両立させています。さらに、トルクベクタリングシステムも、Audi Q2 の優れたハンドリングと走行安定性に貢献しています。

オプションのオーディオドライブセレクトを装着すると、ドライバーは「Auto」、「Comfort」、「Dynamic」、「Efficiency」の4つの中から走行モードを選択できるようになります。MMI システムを装着すると、さらに「Individual」の走行モードが選択肢として追加されます。オーディオドライブセレクトは、車載の様々なシステムと連携して、ステアリングや S トロニックの特性のほか、オプションのアダプティブダンパーの制御プログラムの設定も変えることができます。また、

「Offroad」モードを備えた ESC と、20cm の高い最低地上高により、Audi Q2 はオフロード走行も得意としています。

インディビジュアルスタイル：エクステリアとインテリア

Audi Q2 は、クルマの外観や内装の多くのパーツを、好みに応じて自由にアレンジすることが可能です。装備ラインによって設定が異なるアドオンパーツは、Audi Q2 にスポーティもしくは典型的なオフローダーの風貌をもたらします。ヨーロッパ市場においては、ベースモデルの上に、「design」と「sport」の2つの装備ラインが設定されます。design selection を利用するか S line sport パッケージを選択すると、さらに多様なアレンジが可能になります。S line sport パッケージでは、SUV の機動性が視覚的にも強調された設定になっています。

丁寧な造りのインテリアでは、お客様が自分好みのスタイルを演出する要素がさらに多くなっています。装飾パネルやシートの一部には、イエロー、オレンジ、レッドといったカラーが用意されています。そのほか、白いプラスチック、つや消しアルミといったトリム素材も選ぶことができます。シート表地は、上質なファブリックのほか、ナッパレザーも設定されています。

夜間は、オプションの LED ライティングパッケージにより、インテリアが魅力的に演出されます。トップ仕様では、彫刻的な造形を持つインストルメントパネル正面のトリムとニーパッドが LED による均一な光で照らされます。このライトには 10 種類のカラーが設定されています。

2016 年秋から販売開始

新型 Audi Q2 は、インゴルシュタットにあるアウディの本社工場で生産される予定で、ヨーロッパ市場では 2016 年秋から販売を開始します。受注は夏頃から開始する予定です。

本プレスリリースに記載されている装備およびデータは、ドイツで提供されるモデルレンジのもので、内容は、予告なく変更される場合があります。